

2015年6月15日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 証券コード: 4324)

英国のEコマース専門エージェンシー「eコマラ社」の株式100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、コンテンツやブランド体験と消費体験の統合化を図る「ブランド・コマース」領域のケーパビリティを強化するため、英国のEコマース専門エージェンシー「eCommera Global Limited」（以下「eコマラ社」、本社：ロンドン市）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

eコマラ社は、Eコマースの技術サービスプロバイダーとして2007年に発足し、一時はEコマース企業の技術サービス部門（eCommera）となっていました。2015年3月に分離・独立し、今日に至っています。

eコマラ社は「ブランド・コマース」領域に強みを持ち、世界有数の小売業や消費財メーカーに対し、Eコマース・ソリューションの開発・提供、メンテナンス、コンサルティングを行っています。本拠地ロンドンを中心に、専門スタッフは世界各地で活動しており、世界30市場において150を超える顧客のEコマースサイト運営を支援しています。また、同社はブルガリアとインドにEコマース関連の技術・サービス開発を行う「開発センター」を保有しています。

全世界のBtoC領域におけるEコマース市場は2013年の1.3兆ドルから2018年には2.5兆ドルに拡大するとの予測*があります。こうしたEコマース市場の拡大に伴い、Eコマースのサイトが消費者とブランドの最初の接点になる機会がますます増加していくものと考えられます。さらに、実店舗との連動や対応デジタル機器の普及拡大に伴い、Eコマース自体のあり方も多様化しています。今日、その多様なブランド接点において、いかに消費者のエンゲージメントを高めていくかという「ブランド・コマース」が、Eコマース領域を含むマーケティング業界全体の課題となっています。（*米国フォレスター・リサーチ社調べ）

今回の買収は、こうした課題に対応するものです。今後当社グループは、グローバルネットワーク・ブランドのひとつで、フルサービスのデジタルマーケティング事業を行うIsobar（ア

イソバー)とeコマラの協業関係を深め、Eコマースのソリューション技術、クリエイティブやユーザー・エクスペリエンスをベースとしたブランド構築能力、消費者に対するデータ分析力を融合させながら、顧客ブランドの価値最大化に貢献してまいります。また、Isobarのネットワークを活用することで、今後さらにサービスエリアを拡大させていく予定です。

なお、本件が当社の2015年12月期(決算期を3月期から12月期に変更予定)の連結業績に与える影響は軽微です。

【eコマラ社の概要】

- 社名 : eCommera Global Limited (eコマラ社)
本社所在地 : 英国 ロンドン市
ブルガリアとインドにEコマース関連の技術・サービス開発を行う開発センターを保有
設立 : 2015年3月(前身の設立は2007年2月)
株主構成 : 買収手続き完了後
電通イージス・ネットワーク 100%
収益(Revenue) : 1,760万ポンド(約33.6億円)(2015年3月期のeCommeraの部門収益)
代表者 : Mark Fagan (CEO)
従業員数 : 275名
事業内容 : Eコマース・ソリューションの開発・提供、メンテナンス、コンサルティングなどのビジネスを世界30市場で展開

以上